

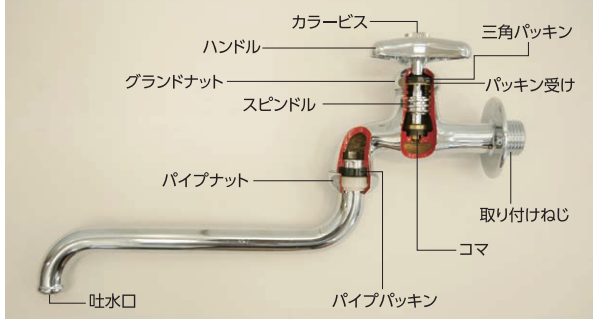


水もれ修理・水栓金具の交換

水もれの原因はパッキンの摩耗がほとんど!

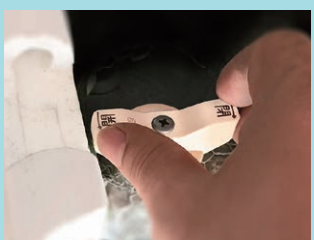
パッキンの交換は数十分でできる簡単な作業なので、気になったら水資源節約のためにもすぐに取り掛かりましょう。

■水栓の構造



※一般の家庭の蛇口サイズはほとんどが13ですから、コマも13用(15mm)を使用します。特殊なものに20・25のものもあります。

準備 修理は止水栓を閉めてから...



水栓を修理する時には、必ず止水栓を閉めてから行います。止水栓は一戸建て住宅の場合は屋外のメーターボックスの中にあります。マンションなどの集合住宅では、入り口近くの通路でガスや電気のメーターが1カ所になっているところの下などにありますが、もし場所がわからない場合は、管理者に問い合わせましょう。また洗面所の止水栓は洗面台の下に、水洗トイレはロータンク脇にあるので、そこを閉めてから修理にかかります。修理終了後には、必ず家中の水栓が閉まっていることを確認してから止水栓を開けましょう。

注意 部品の購入はサイズを確かめてから

水まわりの修理に必要な水栓や各部品には、さまざまなサイズや種類があるので、購入の際には必ず確認しておきたいもの。今使っているものを店舗に持って行き、商品と見比べながら選ぶと安心です。

応用編 おしゃれなハンドルに交換

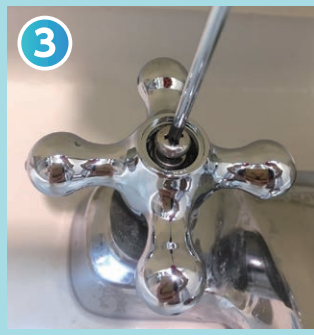
ハンドルが古くなってきたら、ハンドルもおしゃれなデザインのものに。取り替えはとっても簡単。



① キャップを外し、ドライバーでハンドルを外します。



② 蛇口に合うサイズの付属のアダプターをとりつけます。



③ ハンドルを上からかぶせ、ねじで固定します。最後にキャップをかぶせます。



ビフォー



アフター

✓ チェックリスト

- ウォーターポンプ プライヤー
- ドライバー
- 水栓レンチ
- 水道用修繕セット (水栓スパナ+ヤットコ)
- ラジオペンチ
- 水栓修理レンチセット

Q. 水もれ修理 私にできるかな?

YES!

A. 構造は比較的シンプルです。



- 吐水口からの水もれ
- ハンドル下からの水もれ
- パイプの付け根からの水もれ
- 立水栓金具の交換
- 修理を始める前に

※画像はイメージです。

やってみよう!

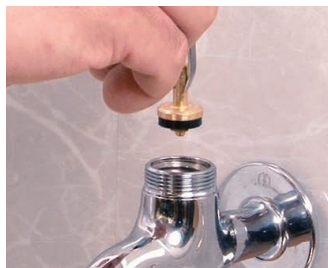
吐水口からの水もれ

1 コマパッキンの老朽化
新しいコマパッキンに交換しましょう!



ハンドルはきちんと締めているのに水がポタポタともれる場合は、ハンドル下にあるコマに付いているパッキンの老朽化が原因なので、このパッキンを新品と交換します。

1 水栓レンチを使って、ハンドル下にあるカバーナットを外します。ウォーターポンププライヤーなどを使う時は、カバーナットに傷が付くのを防ぐため、布をあてて作業します。



2 カバーナットが外れたら、ハンドルを左回りに緩めてスピンドルごと取り外します。(止水栓を閉める時は、カバーナットに傷が付くので注意してください。)古いコマをピンセットなどでつまみ出し、新しいコマに交換します。



3 固定コマの場合は、先端のパッキンを交換します。交換終了後、元の状態に戻しますが、カバーナットを強く締め過ぎるとハンドルが重くなるので注意。

ハンドル下からの水もれ

1 三角パッキンの老朽化
三角パッキンとパッキン受けを交換しましょう!



ハンドルの根元から水がもれるのは、ハンドル下にある三角パッキンの老朽化が原因。三角パッキンとパッキン受けの両方を交換します。止水栓を閉じる必要はありません。

1 ハンドル上のカラービスをレンチやウォーターポンププライヤーなどで左に回し、軽くなったら指で緩めて外します。ハンドルを上へ引き抜き、スピンドルをむき出しの状態にします。



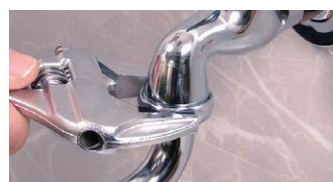
2 ハンドルの下にあるカバーナットをウォーターポンププライヤーなどで緩めて外します。三角パッキンはカバーナットの中に入っている場合もあるので確認します。



3 三角パッキンを外し、指でスピンドルを少し回してパッキン受けを持ち上げて引き抜きます。新しい三角パッキンとパッキン受けをはめ込み、逆手順で元に戻します。

パイプの付け根からの水もれ

1 パイプパッキンの老朽化
パイプを外してパッキンとリングを交換しましょう!



ナットが緩んでいないのに、自在水栓のパイプの付け根から水がもれる場合はパイプパッキンの傷みが原因。パイプを外してパッキンとリングを交換します。

1 パイプナットを左に回して外し、パイプを引き抜いた後、吐水口の内側にある古いパッキンを取り外します。またパイプにはまっているパイプリングも外しておきます。



2 吐水口側のパッキンを取り替えます。この時、溝のある方を上にしてセットします。次に新しいパイプリングをパイプの溝の部分にこじ入れるようにしてはめ込みます。



3 パイプを本体に差し込み、パイプナットをしっかりと締めます。パイプが本体に入りにくい場合は、パッキンを少し水でぬらすと入りやすくなります。

修理に便利な道具

ウォーターポンププライヤー

水道、ガス、空調、電気などの配線・配管工事に使えます。口の開きの調整ができるため、大きいものを挟むことが可能です。



立水栓金具の交換

水平面に取り付けられた水栓金具が立水栓金具です。この水栓本体を交換する場合は、まず連結管と水栓を止めているナットを外し、次に水栓全体を止めているナットを外して本体を引き抜きます。新しい水栓はねじ部の先端から約1cmのところにシールテープを巻き、外した時と逆の順序で組み立てます。

■立水栓

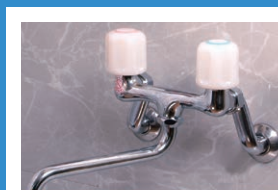
取り付けレンチ
狭いところの作業に
便利です。



水栓の種類は2種類ありますが、交換の要領はどちらも同じです。



■単水栓
全ての水栓の基本タイプ



■混合水栓
水とお湯を混合させて使うもの

配水管の詰まり・混合水栓の交換と修理は
A-25・A-26をご覧ください。